

会 議 録 (9 月)

平成30年9月20日(木)
五ヶ瀬町教育委員会 会議室

- 1 出席委員 教育長 猪野 貴一 委 員 石井 勇
 委 員 寺本 俊文 委 員 興梠 浩幸
 委 員 松本 貴子
- 2 事務局 教育次長 甲斐 津世志 指導主事 渡木 秀明
- 3 書 記 教育次長 甲斐 津世志
- 4 報 告
 (1) 平成30年第3回 町議会定例会一般質問について
 「町立小・中学校児童生徒給食費完全無償化について」
- 5 協議
 (1) 学校施設の整備 (エアコン設置) について
- 6 その他
 (1) 五ヶ瀬町立学校オープンスクールについて
 10月13日(土)1校時～ 各小・中学校
 (2) 第32回体力づくりソフトボール大会の開催について
 10月21日(日)8時00分～ Gパーク、五ヶ瀬中学校グラウンド
 (3) 第8回フロアカーリング大会及びフロアカーリング教室の開催について
 大会：11月11日(日)8時15分～ Gドーム
 教室：10/9、23、11/6(火)19時～ Gドーム
 (4) 市町村教育委員と県教育委員の意見交換会等について 10月9日(火)
 意見交換会：15～17時 社会教育センター(班によるワークショップ形式)
 情報交換会：18～20時 リバーピア
 (5) 西臼杵・東臼杵管内教育委員会合同研修会 10月22日(月)
 研修会：14時30分～16時30分 町民センター
 交流会：17時15分～ 五ヶ瀬ワイナリー雲の上のぶどう
 (6) 宮崎県教育委員会連合会大会及び視察研修について
 10月24(水)～25日(木)視察研修、懇親会、研究大会
 高千穂町マイクロバスにより運行、宿泊：宮崎市ライオンズホテル
7. 連絡事項
 (1) 教育委員会行事予定(9・10月)について
 (2) 次回の委員会の日程について
 10月 日() 午後 時 分から
8. 閉 会

会議録 17 時 30 分開会

教育長 あいさつ

議事録署名委員 石井 勇 委員

Q・・・Question (質問) A・・・Answer (回答)
O・・・Opinion (意見) E・・・Explanation (説明)

【4 報告】

(1) 平成 30 年第 3 回 町議会定例会一般質問について

「町立小・中学校児童生徒給食費完全無償化について」

① 資料に基づき教育次長が説明

E 1 秋本良一議員より町立小・中学校児童生徒給食費完全無償化についての質問主旨は、五ヶ瀬町は教育の町としてG授業をはじめキャリア教育にも熱心に取り組んでいる。また、地域の行事等にも積極的に参加し、特に伝承文化への取り組みは一生懸命であり、まさに子供は地域の宝であり誇りである。給食完全無償化により子供がいる世帯への経済支援や環境改善と広がり、さらには少子化対策、移住・定住の増加も考えられるが考えを伺いたいということである。それを受けて状況・背景を調べた。

平成 28 年 9 月の議会では、甲斐政國議員から子育ての全体的な支援として給食費の無償化に触れられた。基本的に保護者負担というのがありますが、負担軽減を望まれる内容だった。

次に、平成 29 年度の小・中学校の給食費は実績となる。小学校 4 校 167 名で 1 食当たりの単価が 230 円、夏休み期間を除く 11 ヶ月で 1 か月平均単価が 4,140 円。徴収額は、小学校 4 校分を合計して 10,053,170 円。中学校分が 72 名で、単価が 255 円。1 ヶ月平均単価が 4,590 円、年徴収額は 4,489,530 円、小・中学校合計して 14,542,700 円。これは先生等の徴収額も入っていて、児童生徒分のみでは 12,000,000 円程となる。全国及び県内の状況を調べると 740 市町村の公立学校のうち、小中学校とも無償化を実施しているのが 76 市町村で 4.4%。小学校のみ無償化をしているのが 2 市町村で 0.2%。中学校のみ無償化が 2 市町村で 0.1%。続いて県内の状況は、26 市町村のうち 8 市町村が実施をしている。全額補助は諸塚村、半額補助は小林市・西米良村・日之影町、一部補助は国富町・木城町・美郷町・椎葉村という状況。各市町村からの意見も聞いたが、子育て世代の経済的支援となっているのは間違いないが、少子化対策・移住・定住に繋がっているのかは言えない。なかなか見えにくいということだ、また、子育て支援計画・定住促進計画と一体となって取り組むべきであろうという意見もあった。過去の検討経緯も資料に記載しているので読んでいただきたい。

次に給食費徴収状況だが、町内の小・中学校とも給食費の滞納は無い。JA 口座により自動引き落とし徴収されている。これは平成 28 年度より始まり、JA は手数料を取っていない。給食費の考え方を書いているが、基本的に保護者負担。昔、手弁当を持ってきていた時代からの考えである。憲法では義務教育は無償化とあるが、学校給食については保護者の負担ということである。これからの検討事項として町の財政指数を踏まえた妥当性と財源、12,000,000 円程の費用が掛かる。

補助を行うならば全額、1/2、一部なのか、または、五ヶ瀬の食材を補助するのかという方法もあるということ。町の方針取り組みについては、これから予算・財源も必要となるが、子育て世代の経済的支援となることは間違いないが、少子化対策・移住・定住へ繋がっていくのはなかなか見えない部分である。その点について検討すべきであるが、家庭教育五ヶ条を制定したので、早寝・早起き・朝大豆を普及するというために食育についての予算を確保していきたいと考えている。また、資料には一般質問の答弁書を載せている。秋本良一議員の質問に町長もなかなか難しいと返答をしている。

E 2 全国的に滞納が問題となっている、平成 27 年に検討して、JA は手数料を取らなかった。宮崎銀行はどうしても手数料を必要と言われた。JA をお願いして引き落としを三ヶ所小だけでやろうとしたのを中学校と他の小学校も一緒に平成 28 年度から始めた。これからの方向は給食費が公金化される。一般会計に入れられないが特別会計を作り、そこに給食費を徴収して支払いは教育委員会が行う形に変わってくる。なぜかという、今まで督促をしていた人達が学校の担任であったり事務であったり管理職であったり、これが問題化してきた。最初に話したのだが、五ヶ瀬町では滞納はありませんと言った。問題は発生しないし公会計でも対応できると説明をした。質問は全額と話されたので、これは町長の公約にも準じることなので、考え方はしっかり保護者が給食費を払うということで町長と打合せをしていた。最終的には早寝・早起き・朝大豆の部分食材を全児童生徒に学期 1 回 1 食分、年間 3 食の助成であれば 200,000 円弱で済み、それくらいの予算化だったら出来るかと思っている。新規事業を立ち上げていこうと考えている。

来年は給食費も上げないといけない、消費税が 10% となり、栄養単価表があり、例えばカロリー計算を中学生は〇〇カロリー、高学年は〇〇カロリー、ビタミン摂取量はいくりにしなさいなど。それを考えると 1 食あたり 7 円くらい上がる計算となる。そうするとやはり 10 円から 15 円を最低上げておかないと対応が出来ないということで担当に話しをしている。また、早めに給食の会を開いて、1・2 月には PTA としっかり話し合った上で値上げについて進めていこうと思う。

Q 1 資料の表から上組小学校は年間徴収額が多いのは。

A 1 これは、わくわくランチの分となり毎週行われていることにより 1,000,000 円くらい大きいということであるが、再度確認し報告します。

O 1 児童生徒部の徴収分を正確に計算すると 11,500,000 円程になる。差額は保存食である。

【5 協議】

(1) 学校施設の整備（エアコン設置）について

① 資料に基づき教育長が説明

E 3 資料の点線カッコ内は今までの計画となり、平成 29 年度は保健室に設置した。ただし、他の教室の予算要求をしたが、優先順位を考えなさいという指示が来て保健室から入れたということである。平成 30 年度は全学校職員室に配置した。ただし、下にあるように上組小と五ヶ瀬中は電流・電圧の容量不足により未稼働。

予算要求をしたが査定で落ちた。残りの3校については補正予算で通った。予定として、来年度、給食室と調理員控室、これは給食基準等に基づく。その後、校長室と事務室、そして、図書館、多目的室。普通教室については考えていない。ただ、現状と課題を見てもらうと、この夏の猛暑を受けてやはり五ヶ瀬町でさえ平地と変わらなくなってきた。全国的にエアコンの設置状況が問題視され、五ヶ瀬町の状況も宮日新聞で普通教室は0%と書かれた。対応は急務であると考えている。菅官房長官がインタビューで補正予算として追加予算措置の可能性を示唆された。まだ、これについても結果が出ていない。政府の補正予算が10月に通る見込みである。また、働き方改革と言われているのに教職員の職場にエアコンが無いという状況は再検討する必要がある。また、学校施設のみの考えでなくGドームなど避難をする場所、上組小であれば体育館が第1次避難所となっている。そういうところも全体で考える必要がある。設置に向けての課題は、普通教室となれば、今動いている鞍岡小・三ヶ所小・坂本小の電源工事が必要となってくる。国庫負担金の事業は1/3が補助、1/3が起債になり、町としては1/3を払うことになるが、空調整備の予算を要望する調査をしないとイケない。追加予算が無い限り平成31年度は非常に難しい。調査のための予算を12月議会に提出する。来年度もし実施するという事になった場合、切迫した日程になってくる。これからの対応ということで案を二つ考えている。資料の後ろに答えを書いたが、これは来週にある庁議に意見として出そうと考えている。国が追加の予算措置を行えば全室設置する方向で考えている。国が補正予算をせずに通常とおり行う場合は、教室、給食室等は予定にあったので出来るだけ入れてあげたい。ただし、平成31年度中に予算要求する形となり平成32年度実施となる。そうならないよう、もう一度調査をして計画をしていかなければならない。予算も1校当たりの上限があって、学校毎にやっていかないといけない決まりがある。補助の1/3の上限があったりする。出来るだけ同じ考えでやって行きたいので連絡を取り合いながら進めていく。

Q 2 五ヶ瀬中等教育学校はエアコンが入っているのか。

A 2 県立学校には入っている。

O 2 難しいだろうが、一年でも早くやってもらいたい。

O 3 町の予算があればだが、ふるさと納税の使用目的は選べるようになっているが、教育への割合はどのくらいかと聞いているが出してもらえない。また、それについては検討会議があるのでそこを話したいと思う。

Q 3 調査はどれくらいかかるのか。

A 3 12月補正予算が通ったとして、翌年1月くらいから1か月で調査する。心配なのは来年度このエアコン設置をかなりの自治体が取り組む、その場合、人・機材・会社が動くのか、また、電源工事も申し込によって3ヶ月くらいかかる。3,000,000円~5,000,000円くらいだと思っている。

○4 熱中症対策だが、児童・生徒の熱中症はそこまで発生していないと思う。

Q4 来年度は、上組小・五ヶ瀬中のエアコンは稼働できるのか。

A4 上組小は学校林の伐採益でエアコンを設置したが電力量が上がって動かない、中学校はパソコン室にエアコン設置があるため両校とも電源工事が必要である。

【6 その他】

(1) 五ヶ瀬町立学校オープンスクールについて

10月13日(土)1校時～各小・中学校

① 資料に基づき教育次長が説明

(質疑)なし

(2) 第32回体力づくりソフトボール大会の開催について

10月21日(日)8時00分～Gパーク、五ヶ瀬中学校グラウンド

① 資料に基づき教育次長が説明

(質疑)なし

(3) 第8回フロアカーリング大会及びフロアカーリング教室の開催について

大会：11月11日(日)8時15分～Gドーム

教室：10/9、23、11/6(火)19時～Gドーム

① 資料に基づき教育次長が説明

(質疑)なし

(4) 市町村教育委員と県教育委員の意見交換会等について 10月9日(火)

意見交換会：15～17時 社会教育センター(班によるワークショップ形式)

情報交換会：18～20時 リバーピア

① 資料に基づき教育次長が説明

(質疑)なし

(5) 西臼杵・東臼杵管内教育委員会合同研修会 10月22日(月)

研修会：14時30分～16時30分 町民センター

交流会：17時15分～五ヶ瀬ワイナリー雲の上のぶどう

① 資料に基づき教育次長が説明

(質疑)なし

(6) 宮崎県教育委員会連合会大会及び視察研修について

10月24(水)～25日(木)視察研修、懇親会、研究大会

高千穂町マイクロバスにより運行、宿泊：宮崎市ライオンズホテル

① 資料に基づき教育次長が説明

(質疑)なし

【7. 連絡事項】

(1) 教育委員会行事予定(9・10月)について

(2) 次回の委員会の日程について

10月の開催はなし

閉会時刻 18時32分

教 育 長

会議録署名委員

会議録調整者